

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I. 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします

- II. 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします

金マーカー埋め込み術を 受けられる方へ

さま



主治医

受け持ち看護師

2015年6月9日 作成
2026年3月12日 改訂

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用しているお薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 入院するまでに爪は短く切っておいてください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル
- フェイスタオル
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 1枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚
（靴、ねまき、下着などを入れるために使います）
- 水のペットボトル 500ml 1本



※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は4日間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・手術に必要な物品の確認 ・医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください ・サインをした同意書は看護師にお渡しください <ul style="list-style-type: none"> ・手術室の看護師から説明があります <ul style="list-style-type: none"> ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前入院の場合は昼食から提供します ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・21時以降は絶食です <ul style="list-style-type: none"> ・眠れない場合は安定剤を服用することができます

★水分について★

午前手術の方は翌朝3時まで

午後手術の方は翌朝7時まで

水やお茶のみ、飲むことができます

医療スタッフの目標

- ・安心して入院生活を送られるように支援します
- ・手術の準備をすすめられるように支援します



ご家族の方へ

手術当日は（ ）時までに病棟にお越しください

手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）

必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします

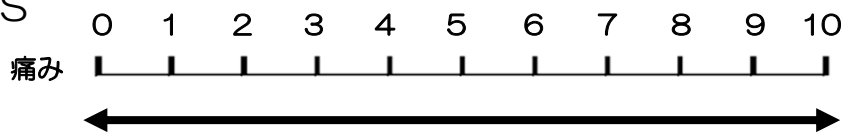
手術後、主治医から手術の結果について説明があります

他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ちいただくことをご了承ください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しだけ
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間後に行います
(これ以外も必要なときに測定します)

活動

- ・ベッドの頭側を少し上げます
体を横向きにするときは看護師がお手伝いします
麻酔が覚め、動けるようになればご自分でも向きを変えましょう
- ・6時間後より、ベッド上で座ることができます
強い血尿がなければ、医療スタッフ付き添いのもとで歩くことができます
(消灯後は、排便時等の希望時のみです)

尿の管

- ・手術中に尿をとる管が入ります
引張ったり曲げたりしないようにしましょう
- ・尿の袋は下腹部より下にしましょう

手術後の傷

- ・傷口はテープでとめています

痛み

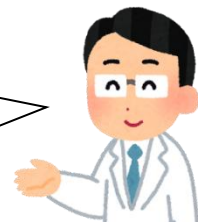
- ・痛みが強い場合は、追加で痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は、看護師にお知らせください

食事

- ・帰室時より水やお茶などの水分摂取ができます
- ・4時間後頃、食事をとることができます
ベッドに横になったままでも食べやすい食事を準備しています

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後1日目 月 日



今日の日標

- ・看護師と廊下を歩くことができる
- ・痛みを我慢せず医療スタッフに伝えることができる
- ・1日1500ml以上水分をとることができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食（常食） 普段飲んでいる薬は服用してください
9:00	回診 傷のテープをはがします 尿の管を抜きます（状態によっては抜けないこともあります）
	【尿の管を抜いた後の排尿について】 <ul style="list-style-type: none">・尿はカップに全部とってください・初めて尿が出たときは、トイレのナースコールで知らせてください・昼食後尿が出たとき、または3時間経過しても尿が出ない場合は、膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます 100ml以上残っている場合は、寝る前と翌日の朝にもエコーをします 必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります
	管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）
	排尿日誌は、毎日記入しましょう ※排尿日誌は、退院日の朝に一度、看護師に提出してください
10:00	検温、血圧測定 ベッドの横に立ち、歩いてみましょう 手術後、初めて立ったり歩いたりするときは、必ず医師または看護師と一緒にいきます シャワー浴または体を拭きます（看護師がお手伝いします）
12:00	昼食（常食）
14:00	検温、血圧測定 廊下を歩きましょう
18:00	夕食（常食）
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

尿がたくさん出るように
水分を1500~2000ml / 日
とりましょう

【尿の管を抜いた後の排尿について】

- ・尿はカップに**全部**とってください
- ・初めて尿が出たときは、トイレのナースコールで知らせてください
- ・昼食後尿が出たとき、または3時間経過しても尿が出ない場合は、膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
100ml以上残っている場合は、寝る前と翌日の朝にもエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）

排尿日誌は、毎日記入しましょう

※排尿日誌は、退院日の朝に一度、看護師に提出してください

- ・看護師から退院後の日常生活について説明します
- ・地域医療連携を希望の方は、退院前に地域医療連携について、私のカルテに沿って説明します

医療スタッフの日標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

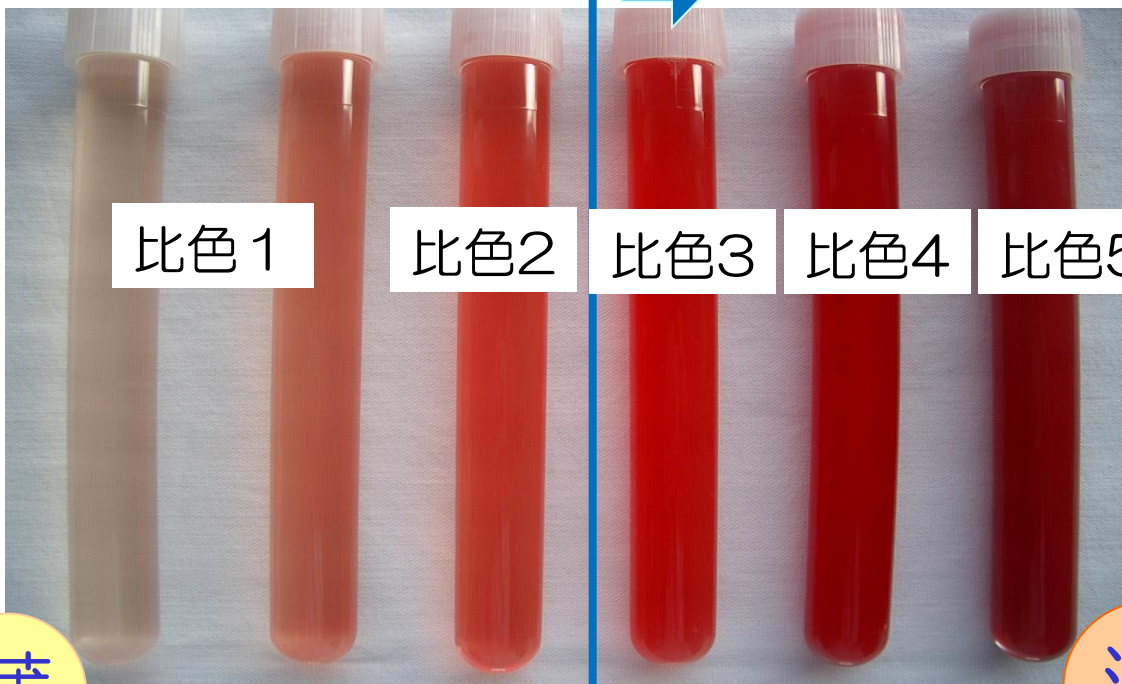
などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※比色3以上になったら
看護師に知らせてください



比色1

比色2

比色3

比色4

比色5

薄

濃

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる
- ・1日1500ml以上水分をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

尿がたくさん出るように
水分を1500~2000ml/日
とりましょう

【排尿について】

- ・前日のエコーで尿が100ml以上残っていた場合は、本日も尿が出た後に膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
- ・尿はカップに全部とってください
- ・排尿後は、トイレのナースコールで知らせてください
- ・エコーで尿が100ml以上残っている場合は次回もエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

9:00

回診

排尿日誌は、退院日の朝に一度、看護師に提出してください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日（ ）時の予定です

外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

<食事>

水分摂取は1日2000 ml を目標にしましょう
栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の種類に制限はありませんが、薄味を心がけましょう
自宅に戻っても水分摂取を心がけましょう

<入浴>

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません



<活動>

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク、自動車の運転は十分に気をつけて
徐々に慣らしていきましょう



活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

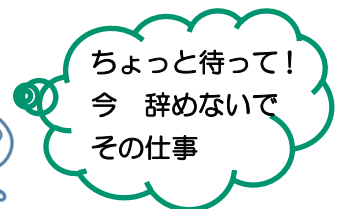
<お薬>

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



<仕事>

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

<その他>

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 尿が出にくくなったとき
- 水分摂取に関わらず排尿ごとに血尿が濃くなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



金マーカ-埋め込み術を受けられる方へ